



エコ・ファーストの約束

～環境先進企業としての地球環境保全の取り組み～

平成22年5月31日

環境大臣 小沢 鋭仁 殿

株式会社 クボタ

代表取締役社長

益本 康男

クボタグループは、「食料」・「水」・「環境」の分野で、社会の発展や地球環境の保全に貢献する企業グループでありたいと考え、地球環境の保全を事業経営の最重要課題と位置づけ、以下の取り組みを進めてまいります。

1 地球温暖化の防止に向けた取り組みを重点的に実施します。

- (1) 国内外のクボタグループの事業所において以下の削減目標の達成に向けて、地球温暖化防止の取り組みを強化します。
 - ①クボタグループのCO₂排出量を2008年度比で2012年度に10%以上削減*します。
(※この目標値は、1990年度比では31.3%以上の削減(クボタ本体生産事業所)に相当します。)
 - ②クボタグループの売上高当たりのCO₂排出量を2008年度比で2012年度に10%以上*削減します。
(※この目標値は、1990年度比では24.2%以上の削減(クボタ本体生産事業所)に相当します。)
 - ③長期目標として2020年度に、国内クボタグループのCO₂排出量を1990年度のクボタ本体生産事業所の排出量(54.4万トン)比で25%*削減します。
(※この目標値は、クボタ本体生産事業所では37%の削減に相当します。)
- (2) 国内の製品及び産業廃棄物の物流において、輸送効率の向上や鉄道・船舶輸送へのモーダルシフトを推進し、売上高当たりのCO₂排出量を2008年度比で2012年度に4%以上*削減します。
(※この目標値は、2006年度比では9.6%以上の削減に相当します。)

2 循環型社会の形成に向けた取り組みを積極的に推進します。

- (1) 国内外のクボタグループの事業所において廃棄物の3R (Reduce・Reuse・Recycle) の取り組みを推進し、売上高当たりの廃棄物排出量を2008年度比で2012年度に8%以上削減します。
- (2) 国内外のクボタグループの生産事業所において廃棄物の再資源化を推進し、2012年度に全事業所数の70%の事業所でゼロ・エミッション*を達成します。(※事業所から排出する廃棄物の埋立比率:0.5%未満)
- (3) 国内外のクボタグループの事業所において、水の3R (Reduce・Reuse・Recycle) の取り組みを推進し、売上高当たりの水使用量を2008年度比で2012年度に4%以上削減します。

3 化学物質の適正な管理を積極的に推進します。

- (1) 国内外のクボタグループの事業所においてPRTTR法対象物質の売上高当たりの排出移動量を2008年度比で2012年度に8%以上削減します。(海外事業所はVOCを削減対象とします。)
- (2) サプライチェーンを通じた化学物質の適正な管理を推進し、クボタグループの製品に含まれる環境負荷物質を削減し、RoHS対象物質削減機種比率*を2012年度に40%以上にします。(※欧州RoHS指令対象6物質を閾値以上含有していない製品の出荷金額の割合)

4 生物多様性の保全のための活動を推進します。

- (1) 生物多様性の保全のための活動指針を策定し、事業活動に伴う環境負荷や環境リスクを適切に管理するとともに、事業所内の緑化やビオトープの設置を通して、自然環境の保護を推進します。
- (2) 社会貢献活動「クボタeプロジェクト」の耕作放棄地再生支援活動や里山・森林の保全活動などを通して、自然環境の保護を推進します。

株式会社クボタは、上記取り組みの推進状況を確認するとともに、その結果について環境省への報告及びCSR報告書などによる公表を行ってまいります。